

## 全国広報担当者向けセミナー受講報告書

令和5年2月2日(木)  
広報部長 近藤 哲司

令和5年2月2日(木)午後1時から午後4時30分まで、日調連による ZOOM 形式で全国広報担当者向けセミナー(講師:井上戦略 PR コンサルティング事務所代表井上岳久氏)を受講しましたので、内容を以下の通りご報告します。

前半の講義は「広報とは何か、広告と広報の違い」、後半は「プレスリリースの書き方、配り方」と題して行われました。

1. 前半の「広報とは何か」は、要約すると「お金を掛けずに情報発信させその情報を一般に浸透させること」をいい、その方法は、テレビ、新聞、雑誌等のメディアに取り上げてもらい、記事やテレビのインタビュー等で情報発信してもらうことで一般に浸透させること。

他方広告とは、「お金を掛けて情報発信させること」をいうとのこと。要するにポスター、チラシ等を作成して配布したり、新聞、雑誌等に有料で情報を載せてもらうこと。

2. 後半の「プレスリリースの書き方、配り方」とは、メディアに記事として取り上げてもらえるものを作り配布すること。

基本 A4 版の用紙に横書きで、文体は「です。ます。調」にし、

書式は ①レターヘッド ②タイトル ③リード ④本文 ⑤連絡先

の順序で簡潔にまとめ、メディアが好むものを作ることが大事である。出来上がったそれをメール、ファックス、持参等で 20 から 30 か所のメディアに配信すること。

プレスリリースはニュースバリュー理論に従って作成すること。

ニュースバリューのあるものとは、

①異常性 ②人間性 ③普遍性 ④社会性 ⑤影響性 ⑥地域性

のどれかが入っており、メディアや一般向けに注目されるものが記事として取り上げられるからインタビューにつながり、記事として発信されることになる。

以上が講義内容でしたが、この後各单位会との意見交換がありました。

3. 各会は意外と出前授業を行っており、卒業生からの働き掛け、他士業を通じての働き掛け、会員との繋がりで行っているとの情報がありました。

その他では、石川会は、隣接立会用のパンフレットを作成予定とのこと。

神奈川会は、立会依頼書に連合会が作成したユーチューブの QR コードを張り付けて広報しているとのこと。

大分会は、立会とはどのような内容をするかという QR コードを依頼書に貼り付けようと考えているとのことでした。

高知会からは、連合会のユーチューブは連合会のホームページに入らないと見れないので、一般の人にも気軽に見れるようにできないかとの要望が出され、例えとして、有名なユーチューバーに依頼してその人から発信してもらうとかできないかとのことでした。

高知会では、作成したものを地元のユーチューバーに依頼し発信しているとのこと。

以上